

新年を迎えて

理事長(鹿児島県知事) 三反園 訓



会員の皆様には、健やかに新年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

鹿児島県には、豊かな自然や個性ある歴史・文化、多彩な食材や伝統の技など、世界に誇れる特産品が豊富にあります。これらは地域の生活に根差した文化であり、地域経済の一翼を担う大切な産業であります。

急速な国際化や本格的な人口減少、少子高齢化、地域間競争の激化など社会情勢も大きく変革しております。時代の変化を的確に捉えながら、新理事長として皆様と一致団結して本県特産品の振興に取り組んでまいります。

来年はいよいよ、明治維新150周年という大きな節目を迎え、「奄美・琉球」の世界自然遺産登録が見込まれるほか、NHK大河ドラマ「西郷どん(せごどん)」の放送も予定されています。鹿児島の風土に育まれた先人の志と行動力に学び、特産品の変遷を検証し、今後の進むべき方向性を探る契機としてと考えております。

さらに、3年後には、東京オリンピック・パラリンピックや48年ぶりの本県開催となる第75回国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」など、鹿児島の多彩な魅力を国内外に発信する絶好の機会が到来しようとしております。

今年は「酉」年。この追い風に乗って、本県特産品が国内外に大いに羽ばたくよう取り組んでまいりますので、皆様方の御支援・御協力をお願い申し上げますとともに、本年が素晴らしい年となりますよう心から祈念申し上げます。

平成28年度 第4回理事会を開催

新理事長に三反園 訓 鹿児島県知事が就任!

11月14日(月)に開催した「平成28年度臨時総会及び第4回理事会」において、満場一致で三反園訓鹿児島県知事が新理事長に就任されました。

三反園新理事長は、「40年ぶりに鹿児島に帰ってきました。改めて鹿児島には素晴らしい物がたくさんあると実感しています。今の時代は、地方と地方の格差が開いており、この競争に勝ち抜いていかなければなりません。そのためには、皆様方と知恵と力を結集して、理事長として先頭に立って邁進していきます。子供たちにこの素晴らしい鹿児島をバトンタッチしていきますよ。」と力強い挨拶がありました。

その他、新規入会1件、県受託事業1件の補正予算について原案どおり承認されました。また、平成28年度上半期の事業経過について、事業計画通り実施していることの報告が行われました。



県産食品を海外に売込もう！

当協会では、本県産食品の海外市場展開を支援するため、平成28年10月25日～26日に県や団体等と連携し、アジアや欧米の流通関係者を招聘して、海外市場動向についてのセミナーや商談会等を実施しました。

1 中国・台湾への市場拡大セミナー

県内の食品製造企業等55社70名が参加して、第1部は日中投資創研(株)代表取締役社長の浅香哲男氏と有限会社SUNVIP董事長の陳農氏から「中国の小売の実情を踏まえた中国向け越境E.C(通販)による市場拡大について」、第2部では台中の高級スーパー(株)裕源の代表取締役社長 謝明達氏から「台湾の消費者の安心・安全な無添加食材志向と

これらに即した商品や販売事例等」について講演いただいた。また、終了後は、個別相談会も行われ、味やパッケージ等について具体的なアドバイスをいただいた。



「海外展開セミナー」講演会の様子

2 「うんまか鹿児島輸出商談会2016」

県内の食品製造企業106社が一堂に会し、海外の8カ国23社(中国、香港、台湾、シンガポール、タイ、ドバイ、北米、フランス)のバイヤーを招聘した商談会を開催した。試飲、試食や商品の食べ方、使い方、製造方法などを説明し、バイヤーからは味や商品の規格、賞味期間、添加物等について質問されるなど積極的な商談が行われた。

特に、賞味期間が長い商品や有機野菜への問い合わせが多く、また、焼酎など認知度の低い商品等の宣伝紹介の強化、地域で志向が異なるのでマーケティングをしっかりとしたい等々の要望もあった。今回の商談会を通じて、当日85件の商談成約が見込ま

れるなど良い感触もあり、出展企業からは、「直接バイヤーと接することで、国・地域別による市場動向を知ることができた」「今後の情報交流する良い機会になった」「現地のニーズを的確にとらえた市場展開の必要性を痛感した」などの声があった。

また、台湾とシンガポール、香港のバイヤーからは県産品のPRフェアの開催要望など、新規ルートの開拓及び既存取引先との取引アイテムの拡充など効果ある商



商品の説明を受ける海外バイヤー

談会であった。

当協会では、今後も鹿児島県産品の更なる海外販路拡大やPRに取り組みますので、関心のある方は、当協会流通企画課へご相談ください。